

親子聖書日課

NO.1880 2024.10/6-12

名前

[日]ダビデは神殿を建てるまで休まないと心に決め、ソロモンの時代に完成しましたが、主は人間の手で造った神殿には住まわれません。主が住まわれるのは、聖霊の宮である信仰者の心の中です。自分の体で、神の栄光を現しましょう。

[月]世の中には、沢山の交わりがありますが、教会の交わりほど豊かなものはありません。それは幼子から高齢者まで、一緒に礼拝を捧げ、神の家族として、互いに愛し合い、助け合い、同じ使命に生きるからです。恵みと喜びに溢れています。

[火]ヤコブは「押しのける」という名前のごとく、自己中心の塊でした。しかし、神はそんな人をあえて選び、ご自分の最高の宝とされました。立派な行いをしたから、神に選ばれるのではありません。むしろ、無きに等しい人を選び、宝とされるのです。

[水]天地万物を造り、イスラエルを選び、愛して下さった主への感謝が歌われました。何と26回も「主に感謝せよ」と。主の慈しみは当たり前だと思っている人には、感謝は生まれません。主の驚くべき恵みが注がれていることに、感謝しましょう。

[木]バビロン捕囚で辛いことは、エルサレム神殿で礼拝が捧げられないことでした。礼拝こそ、信仰者にとって「最大の喜び」です。この喜びを得るためには、二度と罪の奴隷になってはいけません。「バビロンの流れのほとり」から立ち去りましょう。

[金]子供のために親はどんな犠牲も払いますが、命までは救えません。しかし、主は私達の命を救うために、十字架にかかって下さいました。一枚の十字架の絵に「我、汝のために全てをなせり、我がために何をなさんや」とありました。主に感謝しよう！

[土]闇の中で道に迷い、恐ろしい目に遭うように、私達の人生にも闇が襲い、絶望することがあります。その最大の闇は、死です。しかし、主は3日目に復活して、闇の中から救い出して下さったのです。どんな時も、光なる主に従えばよいのです。



	聖書	問題	答え
日	詩編 132:1-18	これは永遠の私の何の地と、主は言われましたか。	
月	133:1- 134:3	見よ、誰が共に座っている、何という恵み、何という喜びですか。	
火	135:1-21	主はイスラエルをご自分の何とされましたか。	
水	136:1-26	恵み深い主にどうすべきですか。	
木	137:1-9	エルサレムを私の最大の何とすべきですか。	
金	138:1-8	主は私のためにすべてをどうして下さいますか	
土	139:1-24	闇の中でも主は私をどうして下さいますか。	
	感想と祈りの課題		